

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	一時保育					所管	教育委員会 児童保育課	
	行政計画	事業NO.	210	計画事業名	一時保育	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成 5 年度	
		[小 柱] (2)就学前児童に対する教育・保育の充実					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ②多様な保育サービスの展開						
根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区一時保育実施要綱					
事業対象	利用月の1日現在満1歳(緊急保育は、利用月の1日現在生後8ヵ月)から就学前の児童							
事業目的	一時的に保育を必要とする児童に対し、必要な保育を行うことにより、保護者の子育て支援と児童福祉の増進を図る。							
事業内容	[実施園] 坂本保育園、東上野保育園、浅草橋保育園、ことぶきこども園、たいとうこども園 [定員] 各園5名 [保育時間] 午前9時～午後5時 ※給食あり [保育の種類] 緊急保育(里帰り出産を含む)、非定型保育、私的事由保育 [保育料] 1日1,500円、区民税課税額5,000円未満の世帯は1,000円、非課税世帯は無料(同世帯で同一日の2人目以降は、上記保育料の7割の金額)、里帰り出産は1日2,000円							
委託の有無	一部委託	委託内容	非常勤職員健康診断					
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	定員数	人	8,180	6,960	7,350	7,320	
		成果指標	延利用人数	人	7,362	5,791	6,341	6,430
	利用率		%	90.0	83.2	86.3	87.8	
	決算額 (単位：千円)				35,175	35,534	35,898	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			48,234	47,078	43,001	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			6,127	6,784	6,363	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			54,361	53,862	49,364	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			4,155	4,475	4,927	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,913	8,904	9,023			
一般財源(区負担額)			41,293	40,483	35,414			
前回評価から改善した事項	毎月月初に通常の窓口とは別会場で行っている一時保育抽選会では、会場からの移動等で混乱が見られたため、案内係を常時配置するなどし、混乱を解消した。また、変更点が生じた場合は、一時保育のご案内を随時改訂し、窓口でも周知に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	親の共働きや祖父母が就労しているなど周囲の援助を受けられないケースの増加により、区民のニーズは依然として高い状態である。					
	効率性	3	区内5か所で一時保育を実施し、9割近い利用率となっており、事業を効率的に実施できている。					
	手段の適切性	3	区の直接運営と指定管理者制度を導入した事業運営(委託)を行っている。どちらの活力も生かし、適切な事業運営ができている。					
	目的達成度	4	保護者の就労等を理由とする非定型理由、通院や学校行事等を理由とする私的を中心に利用者は増加している。利用率は順調に推移しており、必要なサービスの提供はできている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
一時保育は、非定型理由の利用者も多く、待機児童対策の一助となっている。また、緊急理由や私的理由でのニーズも高く、今後も必要な事業である。						維持		